

感染症 ひとくち情報

百日咳にご注意



2016年6月24日

東京都健康安全研究センター

1 百日咳とは

百日咳は、百日咳菌による感染症です。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します（飛まつ感染）。

風邪症状がみられ、咳が多く4週間以上長引き、痰が出るのが特徴です。

その後、激しい咳は2～3週間かけて徐々におさまりますが、時折、発作性の咳がみられます。

乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあります。

成人では、咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。

治療は抗菌薬を使用し、家族や身近な人にも予防的に抗菌薬を投与することが推奨されています。



2 発生状況

一年を通じて発生がみられますが、近年、乳幼児期の予防接種の効果が減弱した成人の発病が問題になっています。

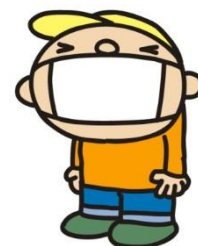
区市町村レベルでは流行していなくても、学校や保育園などで局所的に流行することがあります。

3 予防のポイント

有効な予防法は予防接種です。予防接種法に基づく定期予防接種が行われています。

症状から感染が疑われる場合、速やかな受診・診断を行い、治療と周囲の人の予防措置をすることが、感染拡大の防止のために必要です。

百日咳は、咳やくしゃみによる飛まつ感染や、子供同士の触れ合い等による接触感染でうつります。集団生活ではおもちゃやタオルの共用を避け、子供の年齢に応じて、咳エチケットを心がけましょう。



咳エチケット

- ティッシュなどで口と鼻をおおう
- せき・くしゃみが続くときはマスクをする
- とっさのくしゃみは袖などでカバー

* 都内の百日咳の検出状況や、今年の流行状況をお知りになりたい場合は、東京都感染症情報センターの「百日咳」のページをご参照ください。

百日咳 東京都

検索

